

**市役所通り会が青空美術館に
新たな美術作品を設置**



市役所通り会では、この町に暮らす人が自分の町を誇りに思い、誰かを連れて歩きたいと思う通りを作りたいと、市役所通りに「風の芸術展」ゆかりの美術作品を設置してきました。

昨年11月、作品の老朽化に伴いソフトバンク前の作品を更新し、第3回枕崎国際芸術賞入賞作品である長谷川聡さん(神奈川県)の「家族」を設置しました。青空美術館に第3回枕崎国際芸術賞展の作品が設置されるのは初めての事です。

通り会では、作家や設置者の思いのこもった作品にいたずら等しないよう呼びかけています。

**有限会社ミナミ代表取締役社長
南昌憲さんに観光功労者表彰**



令和3年3月に本市の特産品や観光名所等をラッピングしたトラックを導入し、本市観光振興に貢献した功績を称え、観光協会から有限会社ミナミ代表取締役の南昌憲さんに、観光功労者表彰を行いました。

南さんは「運送業を通じて地域貢献していきたいと始めた取り組みを評価していただき嬉しく思います。ラッピングトラックを通じて一人でも多くの方に枕崎の魅力が伝わり、発展の一助になれば幸いです」と話しました。

**枕崎へようこそ!市営球場で
清潭高校野球部が冬季合宿**



1月10日から2月10日にかけて、韓国の清潭高校野球部45名が市営球場で冬季合宿を行っています。清潭高校野球部は、昨年韓国の国内大会で準優勝した全国でもトップクラスの實力で、昨年は4人の選手を韓国プロ野球に輩出した強豪校です。

1月16日、市営球場で歓迎セレモニーを開催し、激励に枕崎牛を贈呈しました。今後の清潭高校野球部の活躍を期待しています。

**新たな新春ランニングイベント
かつおランニングDayを開催**



①元気よくスタートするかつおジョギングの参加者 ②鹿児島銀行陸上部による陸上教室 ③こどんRUNでは未就学児が一生懸命走りました ④運営の一役を担ってくれたボランティアスタッフ ⑤リレーマラソンでたすきを繋ぐ参加者 ⑥消防チームは「火災予防」をアピールし、最後はチーム全員で走り切りました

1月15日、市営球場および塩浜総合グラウンドで本市では3年ぶりとなる新春ランニングイベント「枕崎かつおランニングDay」が開催されました。

未就学児を対象に300mのコースを走る「こどんRUN」や年齢ごとに1km、2km、4kmをそれぞれ走る「かつおジョギング大会」、90分間にチームでどれだけの距離を走れるかを競う「リレーマラソン」と多様な参加スタイルでそれぞれの挑戦を楽しんでいるようでした。

競技間には鹿児島銀行陸上部の皆さんによる陸上教室も開催され、正しいウォーミングアップのやり方などを学んでいました。

また、南薩地区の高校生や先生などのボランティア25名の参加があり運営の一役を担ってくれました。

**支え合って生きる共生社会を目指して
障害者についての理解・啓発研修会を開催**



12月12日に桜山小学校で、12月21日に別府中学校で、精神障害者についての理解・啓発研修会を開催しました。

自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障害や疾病のある障害者の支援を行う「ピアサポーター」の宇都勇さんが講師を務め、障害の有無に関わらず互いに人格と個性を尊重し、支え合う「共生社会」の重要性を、経験を交えながら話しました。また、交流活動として「貼り絵」を作成し、細かい作業に苦戦しながらも、互いの個性を認め合う体験を行いました。

**美穂丸船長の渡邊剛さんに日本
水難救済会から救助特別功労賞**



昨年3月13日、枕崎漁港沖合で発生した遊漁船火災事故において救助要請を受け、海に飛び込み避難していた15人全員を無事救助した美穂丸の船長渡邊剛さんの功績を称え、12月26日、市役所で県水難救済会会長から救助特別功労賞の伝達がありました。

渡邊さんは「要請を受けて救助に向かうという当たり前のことをただけです」と話しました。

**第一生命保険株式会社と包括
連携協定を締結**



12月26日、本市は、第一生命保険株式会社と包括連携協定を締結しました。

この協定により、健康増進や少子化対策、子育て支援など、さまざまな分野で相互連携と協働による活動を推進し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展および市民サービスの向上を目指します。第一生命保険株式会社鹿児島支社支配人支社長の木戸伸治さんは「お客様だけでなく、地域の皆さんに少しでもお返しができたらという気持ちで取り組んでいきたい」と話しました。

**かけがえのない命を楽しんで
立神小学校でがん教育授業を開催**



12月13日、立神小学校でがん体験者から命の大切さやがんについて学ぶがん教育授業が開催されました。

NPO法人がんサポートかごしま副理事長の野田真記子さんを講師に招き、がんになった体験や旅立った仲間のメッセージを伝えました。児童たちは、普通に暮らせることが幸せであることや周りにいる人を大切にしてほしいこと、かけがえのないそれぞれの命を楽しんでほしいという強い願いを受け取っていました。

**第65回県児童生徒作文コンクール
枕崎小学校の2名が特選を受賞**



第65回県児童生徒作文コンクールにおいて、枕崎小学校3年生の新屋敷侑玖さんの作品「ぼくの大切な畑」と、同校6年生の甲斐愛咲さんの作品「字には心が表れる」の2点が特選に選ばれ、12月19日、教育長からの伝達式が行われました。

同コンクールでは各地区から選出された小・中学生の作品の中から、各学年10名程度が選ばれ、文集「かごしま」第65集に掲載が予定されています。

加藤正明さんに法務大臣表彰



長年、保護司として活動してきた加藤正明さんに法務大臣表彰が授与されました。

加藤さんは、平成15年に保護司になって以来、罪を犯した人々の更生や再犯防止、犯罪・非行の予防へ献身的に活動してきました。また、平成24年から川辺保護区枕崎支部保護司会の会長を務め、そのリーダーシップを発揮しています。

加藤さんは「地域や保護観察対象者のためにと頑張ってきたことが評価されて嬉しいです」と話しました。